



Painter²⁰¹⁶®

Painter 2016 のご紹介

Copyright 2015 Corel Corporation. All rights reserved.

Corel® Painter® 2016 のご紹介

このユーザー ガイドの内容、および関連する Corel Painter ソフトウェア (以下「ソフトウェア」という) は、Corel Corporation (以下「Corel」という) および該当するライセンサーに帰属し、著作権で保護されています。Corel Painter の著作権について詳しくは、ソフトウェアの [ヘルプ] - [Corel Painter について] をご覧ください。

製品の仕様、価格設定、パッケージ、テクニカルサポート、情報 (以下「仕様」) は、販売用英語版のみについてのものです。その他のすべてのバージョン (他言語版を含む) の仕様は異なることがあります。

情報は、明示・黙示を問わずその他一切の保証または条件 (市販可能な品質に関する保証、適正品質に関する保証、または商品性・特定用途への適合性等の保証、あるいは、法律その他の法令、取引慣行、取引過程等により発生するものを含むがこれに限らない) を伴わずに Corel 社によって「現状有姿」ベースで供給されるものとします。提供される情報の運用およびその結果に関する全リスクはお客様が引き受けるものであり、Corel 社は、お客様およびその他いかなる個人または法人に対しても、間接損害、付帯損害、特別または偶発的損害 (売上または利益の喪失、データの滅失または損傷、その他の商業的または経済的な損害を含むがこれに限らない) につき一切責任を負わないものとします。前述のような損害の可能性につき当社が連絡を受けていた場合、あるいはそのような損害が予測可能であった場合も同様とします。また、Corel は第三者によるいかなる請求についても責任を負いません。Corel の責任の合計額は、お客様が本製品の購入に際して支払った金額を超えないものとします。州または国によって偶発的損害もしくは付帯損害について債務の除外または制限が認められないことがありますが、その場合には、前述の限度はお客様には適用されません。

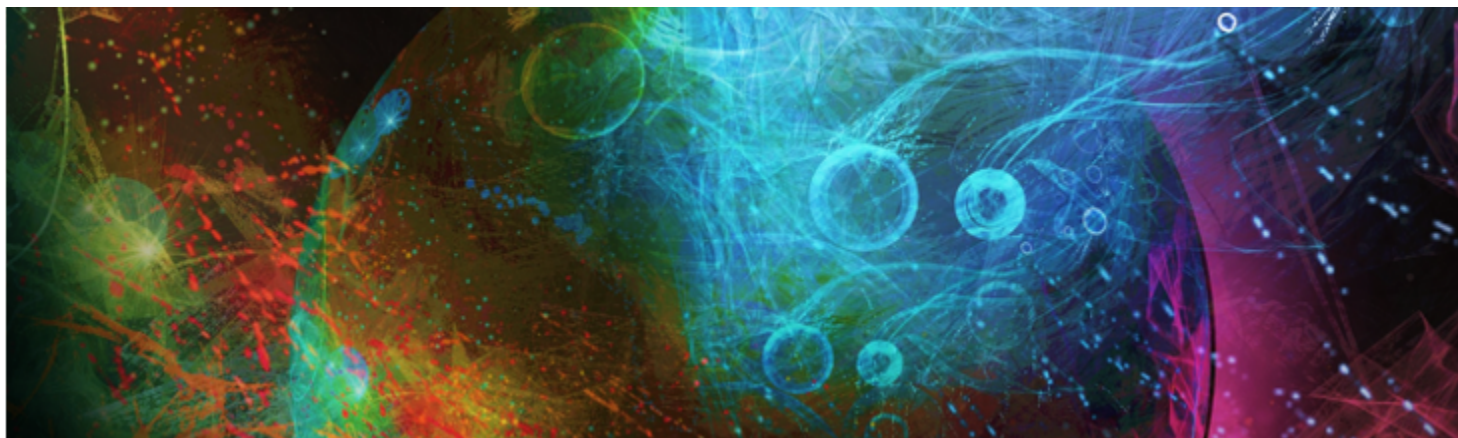
Corel、Corel Balloon のロゴ、Corel のロゴと Balloon のロゴとの組み合わせ、Painter、Cinco、CorelDRAW、Natural-Media、PaintShop、RealBristle、VideoStudio、および WordPerfect は、カナダ、米国、および/またはその他の国における Corel Corporation および/またはその子会社の商標または登録商標です。その他の製品、フォント、企業名、ロゴは、それぞれの企業の商標または登録商標です。特許:www.corel.com/patent

サンプルのアートワークは、Corel の関連企業ではないサード パーティにより作成されており、許可を得て使用されています。

210085

目次

Corel Painter 2016.....	1
Corel Painter 2016 の新機能.....	1
作業領域の概要.....	7
作業領域レイアウトを選択する.....	9
ブラシを選択/変更する.....	10
ツールボックスについて.....	12
パネルとパレットについて.....	16
ワークフローを選択する.....	20
その他のリソース.....	29



Corel Painter 2016

Corel(R) Painter(R) 2016 は究極のデジタル アート スタジオです。その画期的な描画ツール、リアルなブラシ、クローン作成機能、カスタマイズ可能な機能により、これまでにないエキサイティングな手法で、より創造性の高い表現が可能になります。Corel Painter の感圧ブラシを使用すると、自分の手の延長のようななめらかな動きで、驚くほどの高い質感や正確さを持ったブラシストロークが実現できます。さらに、独自の Natural-Media(R) ブラシを作成し、ブラシとキャンバスとの反応をカスタマイズすれば、多様な方法で芸術的なアイデアを発展させることができます。Corel Painter は従来の制作環境の限界をはるかに広げました。

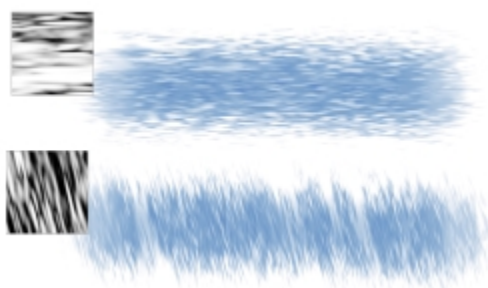


Corel Painter で作成したアートワーク

Corel Painter 2016 の新機能

新規! 回転可能なメディア:

Corel Painter 2016 では、用紙テクスチャとフロー マップの角度を変更することで、ブラシストロークのタッチをより多様に変化させることが可能になりました。詳しくは、製品ヘルプの「用紙テクスチャを回転する」および「フロー マップのカスタマイズ」を参照してください。



用紙テクスチャを回転させない場合 (上) と回転させた場合 (下) のブラシストロークの違い。

用紙テクスチャを回転するには

- 1 [ウィンドウ] ▶ [テクスチャパネル] ▶ [テクスチャ] を選択します。
- 2 [用紙の回転] スライダを調節します。

強化! デフォルト設定の復元:

Corel Painter 2016 では、アプリケーションを出荷時のデフォルト設定に戻す場合に、カスタム コンテンツをこれまでよりも簡単に保持できるようになりました。最新バージョンではデフォルト設定に戻す場合も、カスタマイズしたブラシやパレット、用紙テクスチャ、ノズル、スクリプト、およびその他の設定を保持できます。これまでのバージョンでは、カスタム コンテンツを保持するためには、最初にライブラリをエクスポートしてからデフォルト設定を復元し、その後ライブラリをインポートし直す必要がありました。詳しくは、製品ヘルプの「[デフォルト設定をCorel Painter復元する](#)」を参照してください。

新規! ダイナミック スペックル:

この機能はパーティクル システムの物理特性とユーザーの筆圧にリンクされたブラシ厚みコントロールを結合することで、魅力的な Natural-Media ブラシストロークや、ポロック風の斬新な飛沫の描画を可能にします。ダイナミック スペックルは特定のプリスル/リアルプリスル/粒子ブラシで使用できるため、これらの革新的な Painter 独自のテクノロジーをより一層活用できます。詳しくは、製品ヘルプの「[ダイナミック スペックル](#)」を参照してください。



ダイナミックスペックルにより、色やスペックルの個別スポットから連続ブラシストロークを生成

ダイナミック スペックル ブラシ バリエーションを検索するには

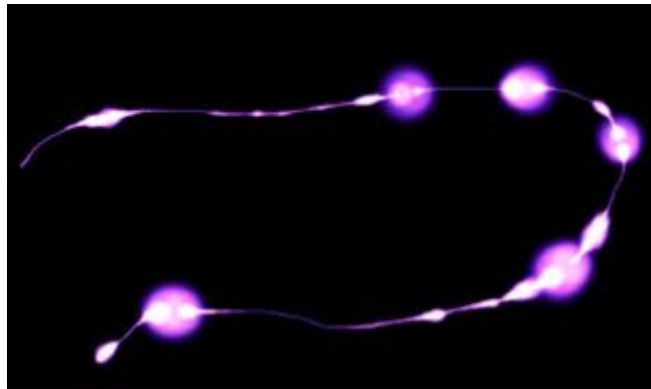
- 1 検索バーの [検索] テキスト ボックスに「[ダイナミック スペックル](#)」と入力します。
検索バーはプロパティ バーの右側、書類ウィンドウの右上隅にあります。
- 2 検索結果のリストからブラシ バリエーションを選択します。

ダイナミック スペックル ブラシ バリエーションを変更するには

- 1 ブラシ セレクタからダイナミック スペックル ブラシ バリエーションを選択します。
- 2 **[ウィンドウ] ▶ [ブラシコントロールパネル] ▶ [ダイナミックスペックル]** を選択します。
- 3 ペイント時には以下のような調節が可能です。
 - **[数]** スライダを動かして、ダイナミック スペックルの数を調節します。
 - **[サイズ]** スライダを動かして、ダイナミック スペックルのサイズを調節します。
 - **[最小サイズ]** スライダを動かして、スペックル サイズの変動幅を調節します。
 - **[サイズ連動]** スライダを動かして、ブラシ サイズを変更した場合のダイナミック スペックルの数とサイズの変動を調節します。値を大きくすると、連動性が高まります。
 - **[ハード]** ボタンまたは **[ソフト]** ボタンをクリックして、ソフト エッジまたはハード エッジを選択します。
 - **[ランダムな太さ]** スライダを動かして、ダイナミック スペックルのサイズを変動させます。
 - **[ランダムな不透明度]** スライダを動かして、ダイナミック スペックルの不透明度を変動させます。

新規! オーディオ表現設定:

Corel Painter 2016 では、コンピュータのマイクから取り込んだ音や保存されている音を使用して、ブラシのタッチを変動させることができます。たとえば、ストリーミング音楽と同期してブラシストロークのタッチを変動させるといった使い方が考えられます。オーディオ表現設定では、さまざまなブラシコントロールとオーディオ入力をリンクでき、さらにオーディオ シグナルの強さを調節することで、ブラシへの影響を制御することも可能です。たとえばブラシ サイズを音量の小さいオーディオ入力にリンクしている場合は、強さを上げることでブラシストロークが広がります。その逆に音量が大きい場合は、強さを下げることでブラシストロークが狭くなります。さらにオーディオ表現の範囲を設定することで、音の強さが一定しているかどうかにかかわらず、ブラシストロークの変動範囲を広げることにも可能です (ブラシストロークを最小幅から最大幅まで変動させるなど)。詳しくは、製品ヘルプの「[オーディオ表現設定](#)」を参照してください。



ブラシストロークの幅 (サイズ) が、オーディオ シグナルに同期して変動します。

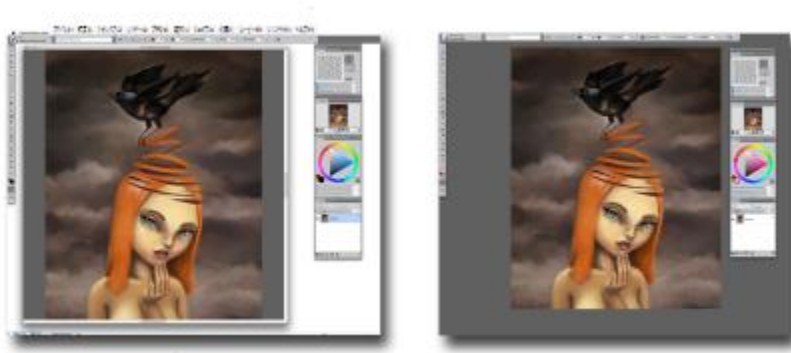
ブラシ効果をオーディオ入力とリンクするには

- 1 **[ウィンドウ] ▶ [オーディオ] ▶ [オーディオ設定パネル]** を選択します。
- 2 **[オーディオ入力を有効にする]** チェック ボックスをオンにします。
- 3 **[入力]** リスト ボックスから音源を選択します。
- 4 **[ウィンドウ] ▶ [ブラシコントロールパネル]** を選択し、次に示す任意のパネルを選択します:**[サイズ]**、**[不透明度]**、**[角度]**、**[ストロークのジッター]**、**[カラー範囲]**、**[カラー表現]**、**[ダイナミックスペックル]**、**[テクスチャ]**、**[エアブラシ]**、**[リキッドインク]**、**[粒子 - 共通]**、**[フロー粒子]**、**[重力粒子]**、**[ばね粒子]**。
- 5 **[オーディオ設定]** パネルで以下のスライダを動かします。
 - **[強さ]** - オーディオ シグナルの強さを調節
 - **[範囲]** - オーディオ表現の範囲を調節

6 [オーディオ表現設定] ボタン  をクリックします。

強化! 書類ビュー:

プロジェクトの作成、作品のプレゼンテーション、テクニックのデモなど、いずれの作業を行っているにかかわらず、Corel Painter 2016 では書類ビューをより簡単に切り替えられるようになりました。書類ビューは、ツールボックス、ウィンドウメニュー、およびキーボード ショートカットを使用して切り替えられます。デフォルト表示では、すべての開いている書類が一般的に使用されるアプリケーション コントロールとともに表示されるのに対して、単一ドキュメント表示では作業中の書類に集中できます。またプレゼンテーション モードでは、重要なコントロールだけを残して、オペレーティング システムのメニュー バーおよびタスクバーが非表示になります。詳しくは、製品ヘルプの「[書類ビューを切り替える](#)」を参照してください。



単一ドキュメントの表示 (左) とプレゼンテーション モード (右)。

書類ビューを切り替えるには

- [ウィンドウ] を選択し、以下のいずれかのコマンドを選択します。
 - [単一ドキュメントの表示] - デフォルト表示と単一ドキュメント表示の切り替え
 - [プレゼンテーションモード] - プレゼンテーションモードのオン/オフの切り替え



ツールボックス内の [単一ドキュメントの表示] ボタン  と [プレゼンテーションモード] ボタンをクリックするとビューを切り替えられます。

デフォルト表示と単一ドキュメント表示の切り替えには、**Command + M** キー (Mac OS の場合) または **Ctrl + M** キー (Windows の場合) も使用できます。

Windows の場合は、**F11** キーを押すことでプレゼンテーション モードのオン/オフを切り替えられます。

新規! ブラシのヒント:

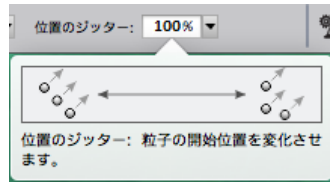
使用中のブラシの種類によっては、そのブラシ テクノロジについての有益なブラシ ヒントが提供されるようになりました。このヒントからは、粒子、水彩ブラシ、リキッド インク、クローン、インパスト、新しいダイナミック スペックルなど、Corel Painter 独自のさまざまな機能を活用する上で役立つ豊富な情報を得られます。

ブラシ ヒントにアクセスするには

- [ヘルプ] > [ヒント] を選択します。

新規! 視覚的なヒント:

図が含まれるツールヒントもあり、特定の設定で高い値と低い値を使用した場合の効果が示されます。



設定値を変化させた場合の効果を一目で理解できます。

強化! Adobe(R) Photoshop(R) ブラシ ファイルのインポート:

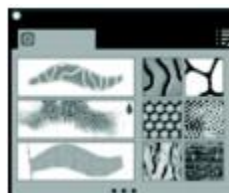
Corel Painter 2016 では、Adobe Brush Resource (ABR) ファイルに保存されているピクセルベースの Adobe Photoshop ブラシのブラシ スタンプをインポートできるようになりました。これらのファイルには、シェイプ、テクスチャ、ダイナミクスなど、Adobe Photoshop ブラシに関する各種情報が保存されています。ABR ファイル内に指定されているその他のブラシ属性はインポートされませんが、Corel Painter 内で自由にカスタマイズできます。詳しくは、製品ヘルプの「[Photoshop のブラシ イメージをインポートする](#)」を参照してください。



インポートした各ブラシ スタンプは、新しいブラシ バリエーションとして表示されます。

強化! カスタム コンテンツの共有

Corel Painter 2016 では、カスタム パレットに保存したコンテンツの共有が容易になりました。カスタム パレットを Painter カスタム ツールボックス (BOX) ファイルとして保存すると、パレット内のすべてのカスタマイズされたブラシ、テクスチャ、パターン、およびフロー マップがファイル内に保持されます。



カスタム パレットに保存したコンテンツを共有できます。

カスタム パレットをカスタム ツールボックスとして保存するには

- 1 [ウィンドウ] ▶ [カスタムパレット] ▶ [オーガナイザ] を選択します。
- 2 [カスタムパレット] リストからパレットを選択します。
- 3 [別名で保存] ボックスをクリックします。
- 4 [新規カスタムパレット名] ダイアログ ボックスで、[ファイル名] テキスト ボックスに名前を入力します。
- 5 ファイルの保存先ドライブとフォルダを選択します。

パレットを保存する場所は、同じフォルダにまとめておくことをお勧めします。

強化! Welcome 画面

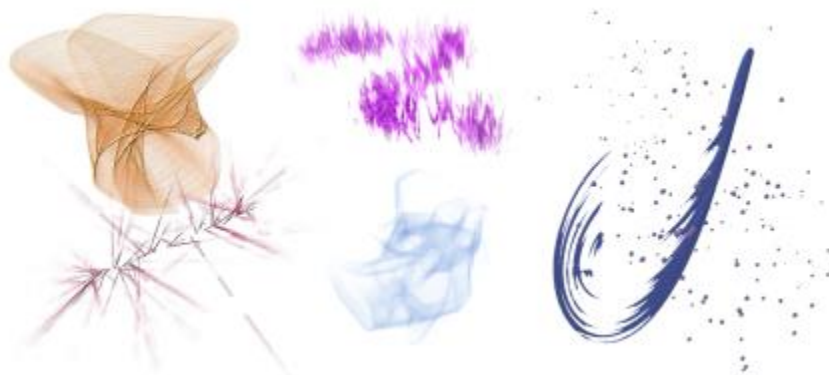
Welcome 画面では、イメージを素早く開始したり開いたり、ニーズに合う作業領域を選択したり、オンライン学習ビデオにアクセスしたり、新しいブラシやその他のコンテンツをオンラインで検索したり、Corel Painter で作成されたオンライン アートワークのギャラリーからインスピレーションを得たりすることができます。Welcome 画面はアプリケーションの開始時に表示される他、[ヘルプ] ▶ [Welcome] をクリックしていつでも表示できます。



Welcome 画面からは必要な情報やツールに素早くアクセスできます。

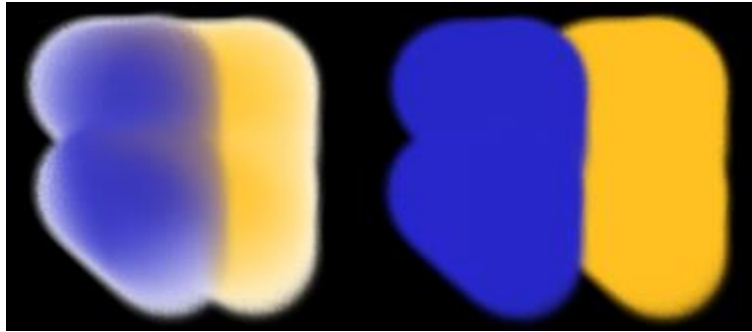
新規! 特殊なメディア ブラシ:

Corel Painter 2016 ではメディアをキャンバスに適用する手法として、新しい描点タイプが追加されています。新しい描点タイプは、粒子とリキッド インク/水彩描点の両方を使用します。このコンビネーション描点タイプには、次の種類が存在します: リキッド インク重力粒子、リキッド インク フロー粒子、リキッド インクばね粒子、水彩重力粒子、水彩フロー粒子、水彩ばね粒子。



強化! レイヤーのブレンド:

レイヤー上で単色でペイントしているか、複数の色をブレンドして使用しているかにかかわらず、[強化されたレイヤーブレンド] オプションを使用すると、白い境界のないブラシストロークを生成できます。詳しくは、製品ヘルプの「[強化されたレイヤー ブレンドを選択する](#)」を参照してください。



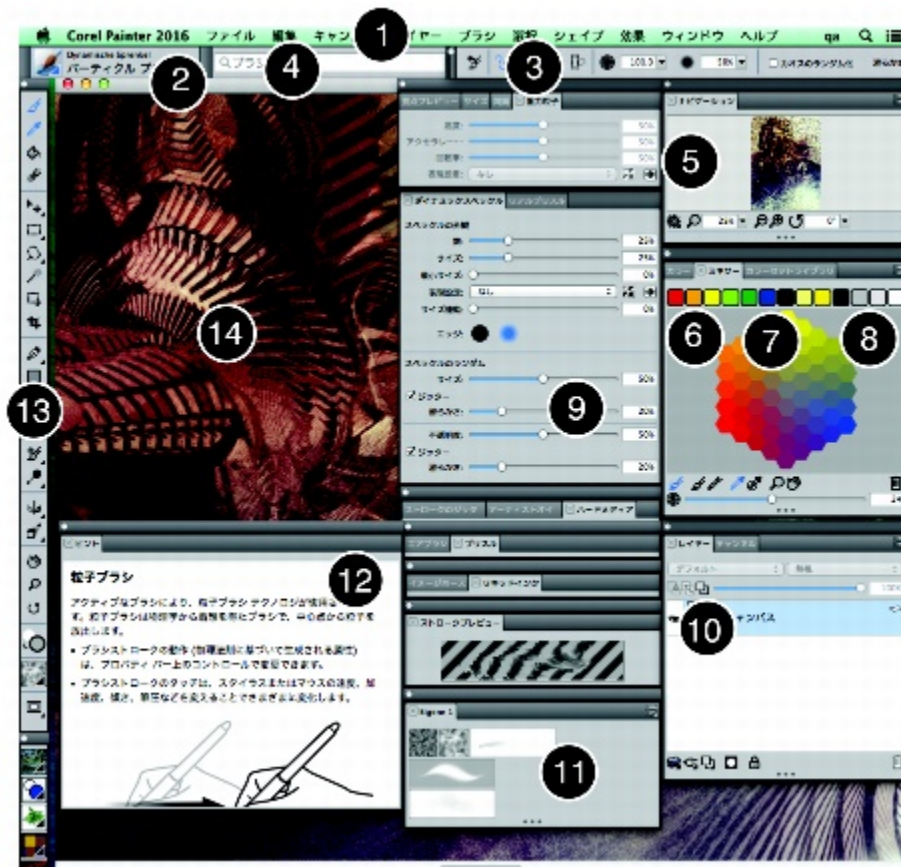
強化されたレイヤーブレンドを使用していないブラシストローク (左) と使用しているブラシストローク (右)

強化されたレイヤー ブレンドを選択する

- 1 [ウィンドウ] ▶ [ブラシコントロールパネル] ▶ [ブレンド] を選択します。
- 2 [強化されたレイヤーブレンド] チェック ボックスをオンにします。

作業領域の概要

作業領域は、メニュー、セレクト、パネル、およびインタラクティブ パレットに分類されています。



丸で囲まれた番号は、以下の表の番号に対応しています。この表では、Corel Painter ウィンドウのメイン コンポーネントについて説明します。(アートワーク作成者: アンドロイド ジョーンズ)

コンポーネント

1.メニュー バー

2.ブラシ セレクタ バー

3.プロパティ バー

4.ブラシ検索バー

5.[ナビゲーション] パネル

6.[カラー] パネル

7.[ミキサー] パネル

8.[カラーセットライブラリ] パネル

9.詳細ブラシコントロール

10.[レイヤー] パネル

11.カスタム パレット

12.ヒント

13.ツールボックス

14.キャンバス

内容

プルダウン メニュー オプションを使用して、ツールと機能にアクセスできます。

[ブラシライブラリ] パネルを開き、ブラシ カテゴリとバリエーションを選択できます。ブラシ ライブラリを開いて管理することも可能です。

アクティブなツールやオブジェクトに関連するコマンドが表示されます。たとえば、**塗潰し**ツールがアクティブであれば、選択した領域を塗り潰すための各種コマンドがプロパティ バー上に示されます。

現在選択中のブラシ ライブラリの内容を素早く検索して、特定の説明に合致するブラシを見つけられます。

書類ウィンドウ内での移動や拡大レベルの変更が可能です。また、トレーシング ペーパーや描画モードなどのさまざまな書類表示オプションにアクセスできます。

Corel Painter で描画するイメージのメインカラーとサブカラーを選択できます。

色をブレンドして新しい色を作成します。また、Corel Painter のエキスパートであるアーティストがデザインした想像力を刺激するミキサー パッドを開くこともできます。この図に示されている魅力的なミキサー パッドは、アーティストであるジョン マルコムによって作成されたものです。

現在のカラー セット内の色が表示され、色のグループを整理できます。

すべてのデフォルトのブラシ バリエーション用の詳細ブラシコントロールに素早くアクセスできます。また、現在選択中のブラシ バリエーションの拡張ストローク プレビューも表示されます。この図には **[ダイナミックスペックル]** パネルが示されています。

レイヤーの階層を管理し、レイヤーの作成、選択、表示、固定、削除、名前の指定、グループ化を行うためのコントロールがあります。

カスタム パレットを使用すると、頻繁に使用するコントロールに素早くアクセスできます。この図に示すカスタム パレットには、カスタマイズされたブラシ、フロー マップ、用紙テクスチャが含まれています。これらのカスタム コンテンツはカスタム ツールボックス (BOX) ファイルに保存して共有できます。

ブラシの使用方法についての有益なヒントを提供します。

イメージを作成、塗潰し、および変更するツールにアクセスできます。

キャンバスとは、書類ウィンドウ内にある長方形の作業領域です。このサイズにより、作成されるイメージのサイズが決定し

コンポーネント

内容

ます。キャンバスはイメージ背景としても機能し、レイヤーとは違って、常にロックされています。

作業領域レイアウトを選択する

作業領域レイアウト（「パレット配置」とも呼ばれます）は、パレットやパネルなどの作業領域の要素を特定のワークフローに応じて表示、非表示、および位置付けするものです。Corel Painter 2016 では、以下の作業領域レイアウトが提供されます。

作業領域レイアウト

内容

Painter の新規ユーザー向け

Corel Painter を初めて使用するアーティストに最適なユーザーインターフェース設定が提供されます。

新規ブラシ

本バージョンで追加された新しいブラシ テクノロジーに素早くアクセスできます。

シンプル

ツールボックス、メニュー バー、一般的に使用されるコマンドへのショートカットを含むコマンド バーなど、最小限度のユーザー インターフェースが表示されます。このレイアウトは、画面サイズが小さいときに適しています。

フォト アート

写真アーティストにより一般的に使用されるパレットが表示され、フォト、テキストチャ、ペイントのクローンを作成するために最適な設定が提供されます。

イラスト

イラストを作成するのに一般的に使用されるパレットが表示されます。

デフォルト

ほとんどのワークフローに適したデフォルトの作業領域レイアウトです。詳しくは、「[書類ウィンドウについて](#)」を参照してください。

クイック切り替え機能を使用すると、2 つの作業領域レイアウトを選択し、現在のタスクまたはデバイスの表示モードに応じて、それらを素早く切り替えることができます。この機能は、特にマルチモードまたはデュアルモードのデバイスを使用する場合に役立ちます。たとえば、デフォルトをレイアウト 1 として、シンプルをレイアウト 2 として選択すると、表示パネルをノートブック モードからタブレット モードに切り替えたときに、シンプル作業領域レイアウトが自動的に表示され、すっきりとした最小限のユーザー インターフェースを使用して作業できます。

作業領域レイアウトを選択するには

- **[ウィンドウ] ▶ [パレット配置]** を選択し、レイアウトを選択します。



レイアウトは、Welcome 画面でも選択できます。これを行うには、**[作成]** タブをクリックし、**[作業領域の配置]** 領域でレイアウトを選択します。

作業領域レイアウトを切り替えるには

- 1 **[ウィンドウ] ▶ [パレット配置] ▶ [クイック切り替え] ▶ [レイアウト 1]** をクリックし、レイアウトを選択します。
- 2 **[ウィンドウ] ▶ [パレット配置] ▶ [クイック切り替え] ▶ [レイアウト 2]** をクリックし、レイアウトを選択します。
- 3 レイアウト 1 とレイアウト 2 を切り替えるには、以下のいずれかの操作を行います。

- デュアルモードまたはマルチモードのデバイスの表示パネルの位置を変更します (たとえば、ノートブック モードからタブレット モードに変更するなど)。
- [ウィンドウ] ▶ [パレット配置] ▶ [クイック切り替え] ▶ [レイアウトの切り替え] をクリックします。

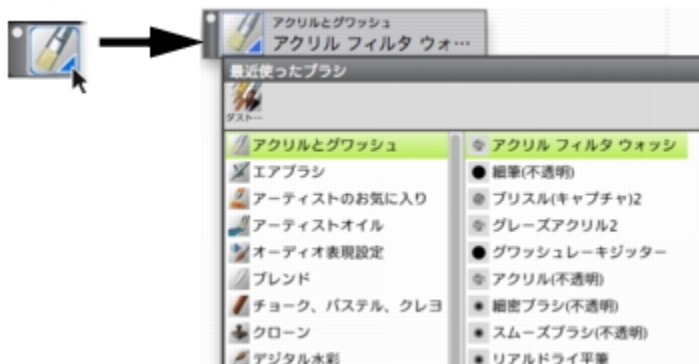


デフォルトの作業領域レイアウトやユーザーが作成したカスタム作業領域レイアウト間での切り替えも可能です。カスタム作業領域レイアウトを作成および保存する方法については、「[パネルとパレットを再配置する](#)」を参照してください。

ブラシを選択/変更する

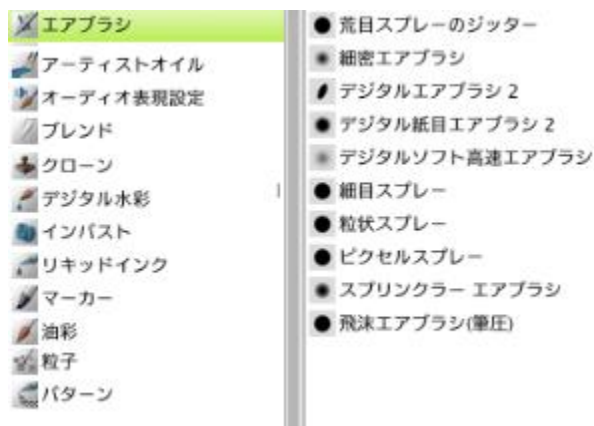
Corel Painter 2016 にはブラシ バリエーションと呼ばれる、絵筆や筆記具のプリセットが多数用意されています。ブラシ バリエーションは、「エアブラシ」、「アーティスト オイル」、「鉛筆」、「水彩」といった多数のカテゴリに分類して登録されています。一部のブラシ カテゴリは現実の画材に近くなるよう設定してありますので、名前から大体どのような描き味のブラシか予想がつけられます。ただしカテゴリによっては対応する現実の画材が存在せず、これまでにない斬新な表現力をデジタル アーティストに提供するブラシも存在しています (画期的な粒子ブラシなど)。

[ブラシライブラリ] パネルでは、さまざまなブラシ カテゴリからブラシを選択できます。また最近使用したブラシも表示されます。



[ブラシライブラリ] パネルにアクセスするには、ブラシ セレクト バーのブラシ セレクトをクリックします。

[ブラシライブラリ] パネルでは、ブラシはカテゴリに分類されており、各カテゴリ内にブラシ バリエーションが存在しています。ブラシ カテゴリは、同系のブラシとメディアをグループ化したものです。ブラシ バリエーションとは、ブラシ カテゴリに含まれている個々のブラシを指します。



[ブラシライブラリ] パネルでは、ブラシ カテゴリ (左) とバリエーション (右) を一覧できます。

ブラシ セレクト バーを表示する/隠すには

- [ウィンドウ] ▶ [ブラシセレクト] を選択します。

ブラシ カテゴリおよびバリエーションを選択するには

- 1 ツールボックスで **ブラシ ツール**  をクリックします。
- 2 ブラシ セレクタ バーのブラシ セレクタをクリックします。
- 3 [ブラシライブラリ] パネルで、ブラシ カテゴリをクリックし、ブラシ バリエーションをクリックします。

ブラシを検索する

現在選択しているブラシ ライブラリのコンテンツを素早く検索して、具体的な指定に一致するブラシを見つけられます。検索を実行するには、1 つのブラシ属性、またはブラシ属性の組み合わせを入力します。たとえば、「鉛筆 リアル」という検索語句を入力すると、「リアル鉛筆」ブラシ バリエーションのすべてのリストが生成されます。

ブラシ バリエーションを検索するには

- 1 検索バーの [検索] テキスト ボックスに、1 つのブラシ属性、またはブラシ属性の組み合わせを入力します。
検索バーはプロパティ バーの右側、書類ウィンドウの右上隅にあります。
- 2 リスト内のブラシ バリエーションの上にマウスを置くと、ブラシストロークのプレビューが表示されます。
- 3 リストからブラシ バリエーションを選択します。



[検索] テキスト ボックスに「**2016**」と入力すると、Corel Painter 2016 に新たに追加されたブラシを検索できます。

ブラシを変更する

ブラシ ツールを選択している場合、プロパティ バー上でブラシ バリエーションを素早く変更できます。一部の基本的な属性 (サイズや不透明度など) はすべてのブラシに共通していますが、その他の属性は選択したブラシ カテゴリに固有です。

デフォルトのブラシ バリエーションの詳細ブラシ コントロールには、プロパティ バーから素早くアクセスできます。このオプションでは、現在選択されているブラシに関係する [ブラシコントロール] パネルのグループが動的に生成されます。

基本的なブラシ属性を設定するには

- 1 ツールボックスで **ブラシ ツール**  をクリックします。
- 2 ブラシ セレクタ バーのブラシ セレクタをクリックします。
- 3 [ブラシライブラリ] パネルで、ブラシ カテゴリをクリックし、ブラシ バリエーションをクリックします。
- 4 プロパティ バーで以下のいずれかの操作を行います。
 - ブラシ サイズを設定するには、**[サイズ]** スライダー  を動かすか、**[サイズ]** ボックスに値を入力します。
 - ブラシストロークの不透明度を設定するには、**[不透明度]** スライダー  を動かすか、**[不透明度]** ボックスにパーセント値を入力します。



右の角カッコ (]) キーを押してブラシのサイズを大きくしたり、左の角カッコ ([) キーを押してブラシのサイズを小さくしたりすることもできます。

ブラシ ツール がアクティブになっている場合は、数字キーで不透明度を設定できます。各数字キーはそれぞれ、固定のパーセンテージに対応しています。たとえば、1 キーは 10%、5 キーは 50%、0 キーは 100% の不透明度を指定できます。

ブラシ固有の設定にアクセスするには

- **ブラシ ツール**  を選択している状態では、アクティブなブラシ バリエーションに固有の設定が **[不透明度]** スライダー  の右側に表示されています。



関連する詳細ブラシ コントロールを表示するには

- ブラシ ライブラリでブラシ バリエーションを選択した状態で、プロパティ バーの **【詳細ブラシコントロール】** ボタン  をクリックします。

ブラシ カテゴリについて

Corel Painter 2016 には多数のブラシ カテゴリが用意されており、各カテゴリ内には多数のプリセット ブラシ バリエーションが存在しています。ブラシ カテゴリの全一覧については、製品ヘルプの「[ブラシ カテゴリについて](#)」を参照してください。

カスタム ブラシを作成する

Corel Painter の充実したブラシ ライブラリに用意されているブラシ バリエーションをそのまま使用する以外に、[一般] ブラシ コントロール パネル内でブラシ バリエーションを変更することも可能です。コントロール パネルでは以下の項目を設定できます。

- **【描点の種類】** - メディアをキャンバスにどのように適用するかを設定します。
- **【ストロークの種類】** - ブラシストロークをメディアにどのように適用するかを設定します。
- **【手法】** および **【サブカテゴリ】** - 手法は、あらゆるブラシ バリエーションの動作を最も基本的なレベルで決定付ける設定です。手法とそのサブカテゴリは、ストロークの外観の属性を表します。
- **【ソース】** - ブラシ バリエーションが使用するペイント材料の種類を指定します。

[一般] ブラシ コントロール パネルの使用方法について詳しくは、製品ヘルプの「[一般コントロール](#)」を参照してください。

[一般] ブラシ コントロールパネルを表示するには

- [ウィンドウ] ▶ [ブラシコントロールパネル] ▶ [一般] を選択します。

ツールボックスについて

ツールボックス内のツールは、ペイント、線やシェイプの作成、シェイプの塗潰し、書類の表示と操作、選択範囲の指定などに使用できます。ツールボックスの下には、カラー セレクトアがあり、さらにその下には、テキストチャ、グラデーション、パターン、複合ブラシ、ノズルを選択できる 6 つのコンテンツ セレクトアがあります。

以下の表で、Corel Painter ツールボックスのツールを説明します。

ツール

内容

カラー ツール



ブラシ ツールを使用すると、キャンバスまたはレイヤー上にペイントまたは描画できます。ブラシ カテゴリには、鉛筆、ペン、チョーク、エアブラシ、油彩、水彩などがあります。**ブラシ** ツールを選択すると、[ブラシライブラリ] パネルが表示され、そこから特定のブラシを選択できます。詳しくは、「[ブラシを選択、管理、および作成する](#)」を参照してください。

ツール



内容

スポイト ツール使用すると、既存のイメージから色を採取できます。プロパティ バーには色の値が示されます。**スポイト** ツールで色を選択すると、**[カラー]** パネル内にその色が選択色として示されます。詳しくは、「[イメージから色を採取する](#)」を参照してください。

塗り潰し ツールを使用すると、色、グラデーション、パターン、テキスタイル、クローンなどのメディアで領域を塗り潰せます。プロパティ バーには、塗り潰し可能な領域と使用可能なメディアのオプションが表示されます。詳しくは、「[塗り潰しを使用する](#)」を参照してください。

消しゴム ツールを使用すると、不要な領域をイメージから消去できます。詳しくは、「[イメージ領域を消去する](#)」を参照してください。

選択範囲ツール



レイヤー調整 ツールは、レイヤーを選択、移動、編集するときに使用します。詳しくは、「[\[レイヤー\] パネルを表示する](#)」を参照してください。

変形 ツールを使用すると、さまざまな変形モードを使用して、選択したイメージ領域を変形できます。詳しくは、「[変形用に選択範囲を準備する](#)」を参照してください。

長方形選択 ツールを使用すると、長方形の枠でイメージを選択できます。詳しくは、「[選択範囲の基本](#)」を参照してください。

楕円形選択 ツールを使用すると、楕円形の枠でイメージを選択できます。詳しくは、「[選択範囲の基本](#)」を参照してください。

なげなわ ツールを使用すると、フリーハンドで選択範囲を指定できます。詳しくは、「[選択範囲の基本](#)」を参照してください。

多角形選択 ツールを使用すると、イメージ上のさまざまなポイントをクリックして直線セグメントで囲むことにより、領域を選択できます。詳しくは、「[パスベースの選択範囲を作成する](#)」を参照してください。

マジックwand ツールを使用すると、イメージをクリックまたはドラッグすることで、類似した色の領域をまとめて選択できます。詳しくは、「[ピクセルベースの選択範囲を作成する](#)」を参照してください。

選択範囲調整 ツールを使用すると、**長方形選択**、**楕円形選択**、および**なげなわ** ツールで作成した選択範囲やシェイプから変換した選択範囲を選択、移動、調節できます。詳しくは、「[変形用に選択範囲を準備する](#)」を参照してください。

ツール



内容

クロップ ツールを使用すると、不要なエッジをイメージから削除できます。詳しくは、「[イメージをクロップする](#)」を参照してください。

シェイプ ツール



ペン ツールを使用すると、直線と曲線のシェイプ パスを作成できます。詳しくは、「[直線および曲線の描画](#)」を参照してください。



フリーハンド ツールを使用すると、フリーハンド曲線を描くことでシェイプ パスを作成できます。詳しくは、「[カーブを調整する](#)」を参照してください。



長方形シェイプ ツールを使用すると、長方形と正方形を作成できます。詳しくは、「[シェイプを描画する](#)」を参照してください。



楕円形シェイプ ツールを使用すると、円形と楕円形を作成できます。詳しくは、「[シェイプを描画する](#)」を参照してください。



テキスト ツールを使用すると、テキストシェイプを作成できます。**[テキスト]** パネルを使って、フォント、文字のサイズ、およびトラッキングを設定します。詳しくは、「[テキストを追加する](#)」を参照してください。



シェイプ選択 ツールを使用すると、**ベジエ** 曲線を編集できます。このツールを使用して、アンカー ポイントの選択や移動、コントロール ハンドルの調節を行うことができます。詳しくは、「[シェイプを選択する](#)」を参照してください。



はさみ ツールを使用すると、開いているセグメントまたは閉じているセグメントを切断できます。セグメントが閉じている場合は、線またはポイントをクリックすると、シェイプ パスが開いた状態になります。詳しくは、「[シェイプ セグメントを切断/連結する](#)」を参照してください。



ポイント追加 ツールを使用すると、シェイプ パス上に新しいアンカー ポイントを追加できます。詳しくは、「[アンカー ポイントを追加/削除/移動する](#)」を参照してください。



ポイント削除 ツールを使用すると、シェイプ パス上のアンカー ポイントを削除できます。詳しくは、「[アンカー ポイントを追加/削除/移動する](#)」を参照してください。



ポイント変換 ツールを使用すると、スムーズ アンカー ポイントからコーナー アンカー ポイントへの変換、またはその逆の変換を実行できます。詳しくは、「[カーブを調整する](#)」を参照してください。

フォト ツール

ツール



内容

前回使用した [クローン] ブラシ バリエントに素早くアクセスできます。詳しくは、「[クローンでペイントする](#)」を参照してください。

スタンプ ツールを使用すると、[ストレートクローン] ブラシ バリエントに素早くアクセスし、1 つのイメージ内または複数のイメージにわたって領域をサンプリングできます。詳しくは、「[オフセットのサンプリングを実行する](#)」を参照してください。

覆い焼き ツールを使用すると、イメージのハイライト、中間色、影の部分を明るくできます。詳しくは、「[覆い焼きと焼き込み](#)」を参照してください。

焼き込み ツールを使用すると、イメージのハイライト、中間色、影の部分を暗くできます。詳しくは、「[覆い焼きと焼き込み](#)」を参照してください。

対称ツール



ミラー ペインティング モードでは、完全な対称ペインティングを作成できます。詳しくは、「[ミラー ペインティング モードを使用する](#)」を参照してください。



万華鏡 ツールを使用すると、基本的なストロークを、カラフルで対称的な、万華鏡のようなイメージに変換できます。詳しくは、「[万華鏡ペインティング モードを使用する](#)」を参照してください。

合成ツール



黄金分割 ツールを使用すると、伝統的な構図技法に基づくガイドを使用して構図を決定できます。詳しくは、「[黄金分割ツールを使用する](#)」を参照してください。



レイアウト グリッド ツールを使用すると、キャンバスを分割して、構図の決定に役立てることができます。たとえばキャンバスを縦横それぞれに 3 等分して、構図の 3 分割法を適用することが可能です。詳しくは、「[レイアウト グリッドを使用する](#)」を参照してください。



遠近ガイド ツールを使用すると、1 点透視、2 点透視、または 3 点透視のガイドを表示できます。詳しくは、「[遠近ガイドを使用する](#)」を参照してください。

ナビゲーション ツール



手のひら ツールを使用すると、イメージを素早くスクロールできます。詳しくは、「[イメージを移動する](#)」を参照してください。

ツール



内容

拡大ツールは、細かい作業を行うときにイメージの一部を拡大表示したり、イメージ全体を見るために縮小したりするときに使用します。詳しくは、「[イメージを拡大する](#)」を参照してください。



用紙回転ツールを使用すると、描きやすい角度になるように、イメージを回転できます。詳しくは、「[イメージとキャンバスを回転する](#)」を参照してください。

セレクト



カラー セレクトを使用すると、メインカラーとサブカラーを選択できます。前面のタイルにはメインカラー、背面のタイルにはサブカラーが表示されます。詳しくは、「[\[カラー\] パネルから色を選択する](#)」を参照してください。



テクスチャ セレクトを使用すると、**[テクスチャ]** パネルが開きます。**[テクスチャ]** パネルでは、キャンバスの表面のテクスチャを選択して変更し、ストロークを適用するときによりリアルな結果を得ることができます。詳しくは、「[用紙テクスチャと凹凸を使用する](#)」を参照してください。



表示 セレクトを使用すると、書類ビューと表示モードを切り替えられます。詳しくは、「[書類ビューを切り替える](#)」を参照してください。



ツールボックスはデフォルトで開いていますが、ツールボックスのヘッダー バーの **[閉じる]** ボタンをクリックして閉じることも可能です。ツールボックスを再び開くには、**[ウィンドウ] ▶ [ツールボックス]** を選択します。

パネルとパレットについて

Corel Painter のインタラクティブ パレットは 1 つのタブが付いたコンテナで、コンテンツ ライブラリ、コマンド、コントロール、各種設定にアクセスできます。パネルはパレット内に格納されます。



このパレットには、関連する 2 つのパネル(**[レイヤー]** と **[チャンネル]**) が含まれています。パネルの内容にアクセスするには、そのパネルのタブをクリックします。

パネルについて

Corel Painter のほとんどのパレットにはオプション メニューがあり、関連するコマンドを実行できるようになっています。たとえば、**[レイヤー コントロール]** パネルのオプション メニューを使用すると、レイヤーのロック、複製、およびグループ化を実行できます。



標準的なパレットには、ヘッダー バー (1)、パネル タブ (2)、およびパネルオプションボタン (3) があります。

次の表に、一般的に使用されるパネルの説明を示します。その他のパネルについて詳しくは、製品ヘルプの「[パネルについて](#)」を参照してください。

パネル	内容
[ブラシコントロール] パネル	
[ブラシコントロール] パネルは、[ブラシコントロール] パレットに含まれています。[ブラシコントロール] は複数の [ブラシコントロール] パネルに分かれているため、作業しながらブラシバリエーションを調節することも、既存のバリエーションを変更して新しいバリエーションを作成することも可能です。	ブラシ バリエーションをカスタマイズできます。詳しくは、「 ブラシ コントロールを使用してブラシを調整する 」を参照してください。
[詳細ブラシコントロール] パネル	現在選択されているブラシに関する [ブラシコントロール] パネルのグループを生成します。詳しくは、「 [詳細ブラシ コントロールをダイナミックに表示する] 」を参照してください。
カラーパネル	
カラー	ペイントするメインカラーとサブカラーを選択できます。詳しくは、「 [カラー] パネルから色を選択する 」を参照してください。
ミキサー	[ミキサー] パレットでは、実際の絵具パレットと同じように色を混ぜ合わせることができます。詳しくは、「 [ミキサー] パネルと混合コントロールについて 」を参照してください。
カラーセットライブラリ	現在のカラー セット内の色が表示され、色のグループを整理できます。詳しくは、「 カラー セットを使用する 」を参照してください。
[レイヤー] パネルおよび [チャンネル] パネル	
レイヤー	すべてのレイヤーのプレビューと操作が可能で、ダイナミックプラグインの適用、新しいレイヤー (水彩レイヤーやリキッドインク レイヤーなど) の追加、レイヤー マスクの作成、レイヤーの削除を実行できます。また、合成方法や奥行き、不透明度の調節、レイヤーのロック/ロック解除を設定することもできます。詳細は、「 レイヤー 」を参照してください。
チャンネル	RGB 合成チャンネル、レイヤーマスク、アルファ チャンネルなど、Corel Painter の書類内のすべてのチャンネルがサムネイル

パネル

内容

形式で表示されます。パネルからは、既存のチャンネルを読み込み、保存、反転することも、新しいチャンネルを作成することもできます。詳しくは、「[アルファ チャンネル](#)」を参照してください。

パネルとパレットを使用する

Corel Painter 2016 を起動すると、**【カラー】** パネルが自動的に開かれ、**【ミキサー】** パネルおよび **【カラーセットライブラリ】** パネルとともに 1 つのパレットにグループ化されています。デフォルトでは、**【カラー】** パネルにはカラー ホイールと選択している色の情報が表示されますが、これらの要素を隠すことも可能です。



【カラー】 パネル

【カラー】 パネル上の情報を隠すには

目的

カラーホイールを隠す

カラー情報を隠す

操作内容

【カラー オプション】 ボタン  をクリックし、**【カラーホイール】** を選択します。

【カラー オプション】 ボタン  をクリックし、**【カラー情報】** を選択します。

パネルは必要に応じて簡単に表示でき、作業が終了したら素早く閉じることができます。

パネルまたはパレットを表示する/隠すには

- **【ウィンドウ】** をクリックし、目的のパネル名を選択します。



隠されているパレットを復元するには、**【ウィンドウ】** を選択し、パレットに含まれているパネルの名前を選択します。

パレットの配置は、カスタム作業領域レイアウトとして保存することにより、後で再利用できます。また、不要になった時点で、そのカスタム作業領域レイアウトを削除できます。

作業に合わせて、パネルの表示を並べ替えることができます。たとえば、タスク関連のパネルを 1 つのパレットでグループ化するなどです。またパレットは随時カスタマイズでき、パネルを追加または削除する、パネルの位置を変更する、パネルを別のパレットに移動するなどの操作が可能です。

パネルをパレットにグループ化するには

- 以下の表を参考にして操作を行います。

目的	操作内容
パネルをパレットにグループ化する	パネルのタブをつかみ、開いている別のパネルにドラッグし、グループを作成します。
パネルをパレットに追加する	パネルをパレットにドラッグします。
パレットからパネルを削除する	パネルをパレットの外にドラッグします。
パレット内のパネルの位置を変える	パネルのタブをつかみ、パレット内の別の場所にドラッグします。

パレットとパネルは作業領域の前面に表示されます。ドッキングすると、パネルやパレットは Corel Painter ウィンドウの一部として、垂直の端に吸着されます。ドッキングを解除すると作業領域から切り離されて移動できるようになります。

パレットをドッキング/ドッキング解除するには

- 以下の表を参考にして操作を行います。

目的	操作内容
パレットをドッキングする	パレットのヘッダー バー (またはタブの右側の空き領域) を Corel Painter ウィンドウの縦の端にドラッグします。パレットとウィンドウの端と端が並ぶと吸着されます。
パレットのドッキングを解除する	パネルのタブの右側の空き領域を Corel Painter ウィンドウの端から離すようにドラッグします。
パネルをドッキングする	パネルのタブを Corel Painter ウィンドウの垂直の端にドラッグします。パネルの端とウィンドウの端が並ぶと吸着されます。
パネルのドッキングを解除する	パネルのタブを Corel Painter ウィンドウから離すようドラッグします。

カスタム パレットを作成する

Corel Painter では、必要な機能だけを含むカスタム パレットを作成できます。カスタム パレットを使用すると、目的の機能に素早くアクセスできます。たとえば、[ブラシライブラリ] パネルや [メディアライブラリ] パネル内のアイテムを、カスタム パレットに入れることが可能です。また、メイン メニューやパネル オプションのコマンドもカスタム パレットに追加できます。詳しくは、製品ヘルプの「[カスタム パレットを作成/変更する](#)」を参照してください。

カスタム パレット上でのアイテムの表示方法を変更することも可能です。たとえば、テキスト、アイコン、または大きなアイコンとしてアイテムを表示できます。

カスタム パレットを作成するには

- 1 [ウィンドウ] > [カスタムパレット] > [メニューコマンドの追加] を選択します。
- 2 [カスタム パレットの選択] リスト ボックスから [新規] を選択します。
- 3 表示される [パレットの作成/コマンドの追加] ダイアログ ボックスで、以下のいずれかの操作を行います。

- メニュー アイテムをデフォルトの Corel Painter メニューから選択します。
- メニュー アイテムを **[その他]** メニューから選択して、その他のコントロールをカスタム パレットに追加します。
- メニュー アイテムを **[パネルメニュー]** メニューから選択してパネルに追加するか、パネルのオプションのフライアウト メニューに含まれているアイテムのいずれかを選択してカスタム パレットに追加します。
- メニュー アイテムを **[ツール]** メニューから選択して、ツールボックスのツールをカスタム パレットに追加します。
- 開いたパレットからアイテムを選択します。

4 [パレットの作成/コマンドの追加] ダイアログ ボックスで、**[追加]** をクリックし、**[OK]** をクリックします。

ワークフローを選択する

Corel Painter にはオリジナル アートワークを作成したり、制作スタイルに適したワークフローを使用したりする上で役立つ、さまざまなツールと機能が用意されています。

たとえば、Corel Painter のパワフルなクローン作成ツールを使用すると、デジタル フォトを素早くペイントに変換できます。またトレーシング ペーパー機能を使用して、フォト ベースのペインティングを開始することも可能です。トレーシング ペーパーを使用すると、クローン書類の下に半透明のソース イメージが表示され、キャンバスにクローン カラーを正確に適用できます。

実際の画材で描いたスケッチを出発点としたい場合は、スケッチをスキャンして、Corel Painter 上でデジタルに仕上げられます。また、用紙テクスチャとブラシを選択してキャンバスに色を適用することで、Corel Painter 上でプロジェクトを一から開始することも可能です。

フォト アート:フォト ペインティング

Corel Painter に慣れるには、フォトをベースにしたフォト アートを作成するのが 1 番です。ソース イメージとして使用するフォトを用意するだけで、簡単に作業を開始できます。フォト アート作業領域レイアウトには、フォト ペインティングに関連するパレットとツールだけが表示されます。



さまざまなプリセット スタイルを使用して、フォトをペインティングに変身させることができます。

Corel Painter には、写真などの既存のイメージをアート作品に変身させることができる、パワフルなイメージ クローン作成ツールがあります。クイック クローン機能を使用すると、イメージをクローンするために必要な設定を自動的に行えます。

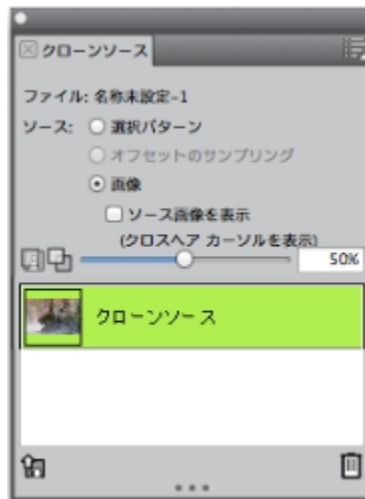
さらに Corel Painter には自動ペインティング ツールが用意されており、デジタル イメージまたはスキャンしたフォトに基づくペインティングを効率よく作成できます。これらのツールを使用する上で、デジタル アートに関する経験は必要ありません。詳しくは、「[写真を自動ペインティングする](#)」を参照してください。

フォト アート作業領域レイアウトを表示するには

- [ウィンドウ] ▶ [パレット配置] ▶ [フォト アート] を選択します。

クイック クローンを使用してイメージのクローンを作成するには

- 1 クローンの作成元になるイメージを開きます。
- 2 [ファイル] ▶ [クイッククローン] を選択します。
- 3 [クローンソース] パネルで、[ソース画像を表示 (クロスヘア カーソルを表示)] チェック ボックスをオンにします。
- 4 クローン ブラシを使用するか、任意のブラシを選択してクローン カラーを設定し、キャンバスにブラシストロークを適用します。



フォト アート:トレース

フォト上でのペインティングに加えて、トレーシング ペーパーを使用してフォトまたはその他のアートワークのアウトラインをトレースし、そのアウトラインをベースにペインティングを開始することも可能です。あるいはフォトをトレースして、木炭やチョークで描いたようなスケッチも作成できます。



フォトをトレースしてスケッチを作成

フォトをトレースするには

- 1 [フォト ペインティング] パネルで、[ブラウズ] をクリックし、トレースするフォトまたは別のアートワークを開きます。

- 2 **[トレーシングペーパー オン]** チェック ボックスをオンにし、**[ソース イメージからカラーのクローンを作成]** チェック ボックスをオフにします。

このように設定することで、ペイント時にオリジナル フォトをビジュアルに参照しつつ、使用する色は自由に選択できます。

- 3 下にあるイメージを参照しながら、キャンバス上にイメージのアウトラインを描きます。

スタイルの筆圧を変えることで、より暗いまたはより明るいトーンを適用することも可能です。陰影は多少変化させてもかまいません。



トレーシング ペーパーの不透明度を変えるには、**[トレーシングペーパーの不透明度]** スライダを動かします。トレーシング ペーパーをオフにするには、**[トレーシングペーパー オン]** チェック ボックスをオフにします。

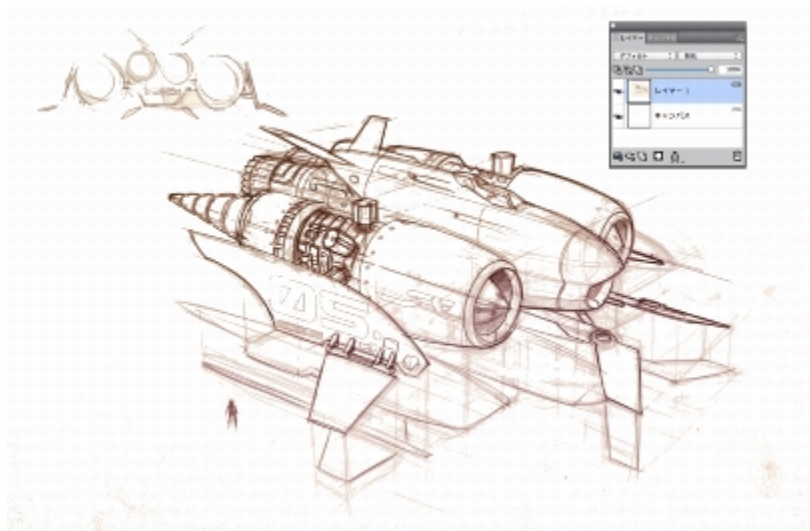
スキャンしたイラストを出発点とする

Corel Painter では、紙と鉛筆で描いた作品を簡単にデジタル化できます。今でも多くのグラフィック プロが、まずはイラストを手描きした上でスキャンし、そのイメージを Corel Painter にインポートする手法を好んでいます。

最初に、何らかの画材と紙を使用して描いたスケッチをスキャンし、JPEG 形式または TIFF 形式のファイルに保存する必要があります。

スキャンしたイラストを配置するには

- 1 **[ファイル] > [新規]** を選択して、スキャンしたイメージの配置先となる書類を作成します。
- 2 **[新しいイメージ]** ダイアログ ボックスで、スキャンしたイメージとほぼ同じ寸法になるように、書類の幅と高さを指定します。
- 3 **[ファイル] > [配置]** をクリックして、スキャンしたファイルの保存先からファイルを選択し、**[開く]** をクリックします。スキャンしたイメージのアウトラインが表示されるため、それをガイドとしてスケッチを配置できます。
- 4 **[配置]** ダイアログ ボックスで **[OK]** をクリックします。スキャンしたスケッチがレイヤー 1 になります。



(アートワーク作成者: ドウェイン ヴァンス)

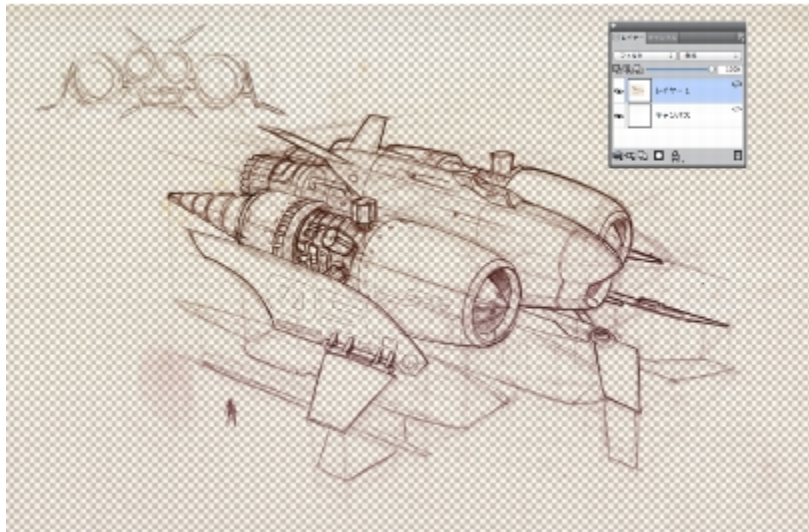
スケッチをスキャンまたは撮影すると、カラー スキャナが拾った汚れや照明の映り込みなどの問題が生じることがあります。これらの問題は、キャンバスを非表示にして合成方法を変え、下にあるイメージとレイヤーのブレンド方法を調節することで簡単に修正できます。たとえば、レイヤーの合成方法を **[フィルタ]** に変えると、透明な背景上にスケッチが表示されるようになります。この方法では、白い部分がすべて透明になります。

スケッチの背景を透明にするには

- 1 **【レイヤー】** パネルで、キャンバスの隣にある目のアイコンをクリックします。
- 2 スケッチ レイヤーを選択し、**【合成方法】** リスト ボックスから **【フィルタ】** を選択します。



最初に白以外の色でキャンバスを塗り潰すことにより、キャンバスを表示したまま フィルタ モードで作業を行うことも可能です。この場合はキャンバス上でのペイントが可能のため、スケッチの下でペイントを行うことができます。この方法を選択すると、スケッチの大部分を素早くペイントしてから**消しゴム** ツール  でクリーンアップできるため、多くのグラフィック プロが利用しています。



(アートワーク作成者: ドウェイン ヴァンス)

スキャンしたファイルを、ファイル内に配置する代わりに、Corel Painter 内で直接開くことも可能です。この場合は書類のサイズ指定を当て推量で行う必要がありません。なお開いたスキャン ファイルは、キャンバス上にマウントされる点に留意してください。作業をより柔軟に行うために、キャンバスから専用のレイヤーに移動することをお勧めします。

スキャンしたイラストを開くには

- **【ファイル】** ▶ **【開く】** をクリックして、スキャンしたファイルの保存先からファイルを選択し、**【開く】** をクリックします。

キャンバスからレイヤーに変換するには

- 1 **【レイヤー】** パネルで **【レイヤーオプション】** ボタン  をクリックし、**【キャンバスを水彩レイヤーに変換】** を選択します。
水彩レイヤーのデフォルトの合成方法は **【フィルタ】** です。
- 2 水彩レイヤーをダブルクリックし、テキスト ボックスに **「Sketch」** と入力します。
- 3 水彩以外のブラシ カテゴリに含まれるバリエーションを使用したい場合は、**【レイヤーオプション】** ボタンをクリックし、**【デフォルトレイヤに変換】** を選択します。

参照用として、シェイプおよび選択範囲を使用してスケッチ上に線画を追加することもできます。あるいは線画を専用のレイヤーにコピーした上で、ペインティングに組み込むことも可能です。別のテクニックとして、スキャンしたスケッチを出発点とする場合にデザイン プロが多用するのが、スケッチの一部分を複製したシェイプの作成です。このシェイプにブラシストロークを加えたり、塗り潰したりすることも可能です。

シェイプを使用してスケッチを複製するには

- 1 ツールボックス内の以下のツールを使用して、スケッチの一部分を複製するシェイプを作成できます。

- **ペン ツール**  を使用すると、オブジェクト内に直線と曲線を作成できます。
- **フリーハンド ツール**  を使用すると、フリーハンド曲線を使用してシェイプ パスを作成できます。このツールはスケッチの各領域をトレースするのに最適です。
- **長方形シェイプ ツール**  を使用すると、長方形と正方形を作成できます。
- **楕円形シェイプ ツール**  を使用すると、円形と楕円形を作成できます。

2 ツールボックス内の以下のツールを使用すると、スケッチの一部分をよりきめ細かく複製できます。

- **シェイプ選択 ツール**  を使用すると、アンカー ポイントを選択して動かし、コントロール ハンドルを調節できます。
- **ポイント追加 ツール**  を使用すると、シェイプ パス上に新しいアンカー ポイントを追加できます。
- **ポイント削除 ツール**  を使用すると、シェイプ パス上のアンカー ポイントを削除できます。

シェイプ レイヤー上ではペイント操作ができないため、シェイプの外観を納得いくまで調整できたら、そのレイヤーを選択し、[レイヤー] パネルの **[新規レイヤー]** ボタン  をクリックします。

3 ツールボックスで **ブラシ ツール**  をクリックします。

4 ブラシ セレクタ バー上でブラシ セレクタをクリックし、ブラシ カテゴリとバリエーションを選択します。

5 プロパティ バーの **[パスをなぞる]** ボタン  をクリックします。

パスまたはシェイプの許容幅の範囲内にブラシがある限り、自動的に輪郭に沿って描画されます。

6 **[レイヤー]** パネル内で、シェイプ レイヤー上に追加したレイヤーを選択し、ペイントします。



閉じたシェイプを使用する場合は、それらのシェイプを **塗潰し ツール**  で塗り潰せる選択範囲に変換できます。最初に目的のシェイプを選択し、**[シェイプ] ▶ [選択範囲に変換]** を選択します。

一から描画/ペイントする

一から描画またはペイントする場合は、最初にキャンバス サイズ、解像度、および方向を設定します。キャンバス サイズと解像度を設定するときには、イメージ サイズが大きいほどより多くのイメージ詳細データを保持でき、イメージの縮小版を生成する必要が生じた場合にも画質を維持しやすいということを心に留めておいてください。詳しくは、「[解像度について](#)」と「[イメージとキャンバスのサイズを変更する](#)」を参照してください。

本書では、著名な Corel Painter マスターであるマイク トンプソンの作品をガイドとして使用しています。オリジナルのデジタル アートを一から作成するために、各種のツールや設定を積極的に試してみてください。

ペインティングの準備をするには

- 1 **[ファイル] ▶ [新規]** をクリックし、任意のオプションを選択してキャンバスをセット アップします。
- 2 **[幅]** と **[高さ]** ボックスの隣にあるリスト ボックスで測定単位を選択した上で、イメージの幅と高さを設定します。



このサンプル イメージでは測定単位にインチを使用しており、幅が 10 インチ、高さが 12 インチに設定されています。

- 3 **【解像度】** ボックスに値を入力します。
サンプル イメージでは、解像度を 200 dpi に設定しています。
- 4 **【カラー】** ボックスをクリックし、**【カラー】** ダイアログ ボックスでペーパー カラーを選択します。
サンプル イメージでは白を使用しています。
- 5 **【テクスチャ】** ボックスをクリックし、**【テクスチャ】** パネルで用紙テクスチャを選択します。
サンプル イメージでは、**【ベーシックペーパー】** を使用しています。



キャンバスの最大サイズは、16,382 x 16,382 ピクセルです。パフォーマンス問題の発生を避けるため、作業開始時のキャンバス サイズは 16,382 x 16,382 より小さく設定してください。これはエッジの近くでペイントや効果を適用した場合に、レイヤーが拡張される可能性があるためです。

フォト、デザイン、または別のデジタル アートをベースにしてペインティングを開始する場合は、**【参照イメージ】** パネルを使用することで、インスピレーションの元となったビジュアル ソースを見ながら作業を行えます。これはワークフローを中断することなく、アートワークの向上に役立つ微妙なニュアンスを捉える上で効果的な方法です。パネルのサイズを変更するには、右下隅からドラッグします。**【参照イメージ】** パネルでは、イメージから色を採取する、イメージの位置を変える、拡大/縮小表示するといった操作も可能です。



参照イメージを表示するには

- 1 **【ウィンドウ】**▶**【参照イメージ】** を選択します。
- 2 **【参照イメージ】** パネルで、**【参照イメージを開く】** ボタン  をクリックします。
- 3 **【参照イメージを開く】** ダイアログ ボックスで、参照するファイルを探します。
開くことができる参照イメージは、JPG、PNG、RIFF、および PSD ファイル形式で保存されている 1,600 x 1,600 ピクセル以下のファイルに限られます。
- 4 **【開く】** をクリックします。



[参照イメージ] パネルで複数レイヤーを含む RIFF、TIFF、または PSD 形式のファイルを開くと、すべてのレイヤーが結合されます。

参照イメージから色を採取するには、**スポイト ツール**  をクリックし、採取したい色の位置までカーソルを動かしてクリックします。カラー タイルが、スポイト ツールで選択した色に変わります。

書類のセット アップが完了したら、ブラシと色を選択してペインティングを開始できます。Corel Painter に用意されている各種ブラシは、実際の画材を念頭に置いて設計されているため、ブラシがどのように動作するかを予測できます。Corel Painter のブラシは、油彩や水彩だけでなく、鉛筆、ペン、パステルなど、多種多様な画材でペイント/描画することが可能です。

個々のブラシはブラシ バリエントと呼ばれ、[ブラシライブラリ] パネル内にブラシ カテゴリに分けて格納されています。詳細は、次を参照してください: [10 ページの「ブラシを選択/変更する」](#)。

ブラシ バリエントはそのまま使用することも、目的に合わせて調節して使用することも可能です。多くのアーティストが、ブラシ バリエントのサイズ、不透明度、粗さ (ブラシストロークの用紙テクスチャに対する反応) などの項目を微調整して使用しています。これらの設定はプロパティ バー上にあります。

ブラシを選択し、色を変更するには

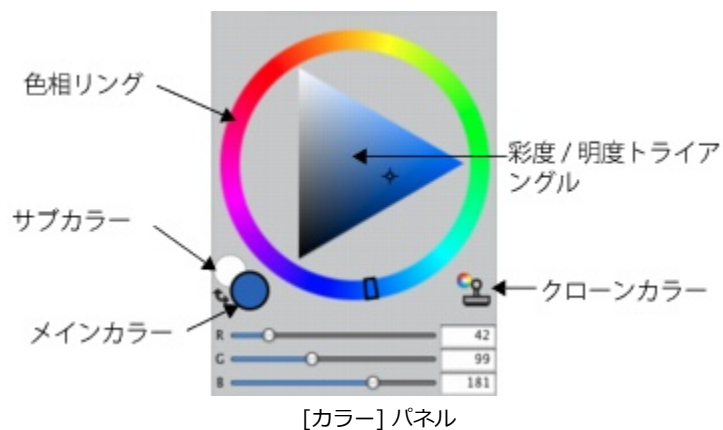
- 1 ツールボックスで **ブラシ ツール**  をクリックします。
- 2 ブラシ セレクタ バーでブラシ カテゴリを選択し、ブラシ バリエントを選択します。



サンプル イメージでは、Mike は [鉛筆] ブラシ カテゴリから [鉛筆 (2B)] を選択しています。

- 3 色を変更するには、[カラー] パネルの **[色相リング]** をドラッグし、使用する色の範囲を表示してから、**[彩度/明度トライアングル]** をクリックして色を指定します。

[彩度/明度トライアングル] の一番上は最大値 (白) で、一番下は最小値 (黒) を表します。彩度は、左から右に増加します。右にドラッグするか、右側をクリックすると、彩度が高くなり主色相の純色に近くなります。左にドラッグするか、左側をクリックすると、彩度が下がり「くすんだ」グレーがかった色になります。



このサンプル イメージでは、Mike は明るい青色を選択しています。

ペインティング作業を一から開始する場合は、ペインティングの各要素をそれぞれ個別のレイヤーに配置することをお勧めします。これにより、あるレイヤーのコンテンツを他のレイヤーやキャンバスから独立して変更および操作できます。また、あるレイヤーをスケッチとして使用し、そのスケッチをトレースすることで別のレイヤー上により詳細で正確なイメージを描くことも可能です。

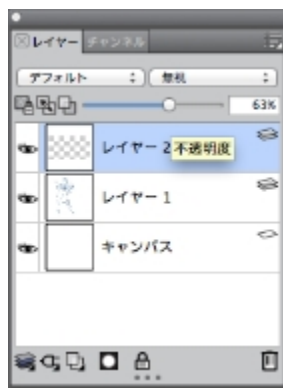
レイヤーを追加/管理するには

- 1 [ウィンドウ] ▶ [レイヤー] を選択して、[レイヤー] パネルを開きます。
- 2 パネルの下部にある **[新規レイヤー]** ボタン  をクリックして、スケッチ レイヤーを作成します。
- 3 [レイヤー] パネル上の新規レイヤーをダブルクリックし、「**Sketch**」と名前を付けます。
- 4 ツールボックスで **ブラシ** ツール  をクリックし、ペインティングのベースになるラフ スケッチを作成します。



(アートワーク作成者: マイク トンプソン)

- 5 トレーシング レイヤーとして使用する新しいレイヤーを作成し、「**Tracing**」と名前を付けます。
- 6 Sketch レイヤーを選択して、**[不透明度]** スライダーを 70% の位置に動かします。



- 7 Tracing レイヤーを選択し、別のブラシ バリエーションと色を選択して、スケッチをベースにしたより明瞭なラインによる描画を開始します。



サンプル イメージでは、Mike は [鉛筆] ブラシ カテゴリから [鉛筆 (平型)] を選択しています。(アートワーク作成者: マイク トンプソン)

スケッチをトレースし終わったら、Corel Painter 2016 によるさまざまな機能を活用してペインティングを仕上げることができます。Mike はこのペインティングを仕上げるために、[塗潰し](#) ツール、[油彩](#) および [ブレンド](#) ブラシ カテゴリ内のバリエーション、[ミキサーパッド](#) 上で混ぜ合わせた色、およびその他のさまざまな機能を活用しています。



(アートワーク作成者: マイク トンプソン)

このペインティングのより詳しい作成方法、またはマイク トンプソンに関する詳細情報はオンラインで入手できます。

その他のリソース

以下に示す Corel Painter のオンライン リソースで詳細な製品情報を入手していただけます。また、Corel Painter のコミュニティにもご参加ください。

リソース

Corel Painter Web サイト

Corel Painter チュートリアル

Twitter の Corel Painter ページ

Facebook の Corel Painter ページ

Corel Painter ファミリーについて詳しくは、www.corel.jp をご覧ください。

アクセス先

<http://www.painterartist.com>

<http://www.youtube.com/user/PainterTutorials>

<http://www.twitter.com/corelpainter>

<http://www.facebook.com/corelpainter>